

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により
被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

今後も地震に伴う計画停電の影響で、ご不便をおかけする場
合がございます。停電が実施される場合も通常どおり開館い
たしますが、詳細についてはお問い合わせ下さい。
なお、節電協力のため、当面営業時間を短縮しております（閉
館16時、最終入館15時30分）。
なにとぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

神々のインドネシア

—更紗・木彫・絵画—

海のシルクロードの要衝に浮かぶ島々の国インドネシアは、時代ごとにイン
ド文化、西洋の文化、中国の文化を受容してきました。木綿の更紗は、
素朴な味わいのなかにも伝統と東西文化の影響、技術の確かさを映し
出しています。本展では更紗を中心に、豊かな信仰心から生まれた彩色
豊かな仮面や人形などを展示し、神秘的に満ちた国インドネシアの多様な
魅力に迫ります。

2011 3.4 FRI — 2011 5.30 MON

■主催／公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館
■後援／インドネシア共和国大使館 山梨県 山梨県教育委員会 北杜市 北杜市
教育委員会 山梨日日新聞社 山梨放送 信濃毎日新聞社 日々倍ジャー
ナル NHK甲府放送局 テレビ山梨 エフエム富士 エフエム八ヶ岳
■協賛／キリンビール

“神々の島”バリ島の 舞踊とガムラン音楽

2011 5.21 SAT 11時～ 13時～ 15時～

バリ島より人気ダンサー「カデ・デウィ」が来日。日本で
No.1のガムラン芸能集団「ウロツテノヤ子」と競演
参加費：無料

場 所：平山郁夫シルクロード美術館らくだ
公園（野外・先着200名様まで）

奏 者：カデ・デウィ（バリ舞踊）、
ウロツテノヤ子 他



平山郁夫と玄奘三蔵の道

2011 1.19 WED — 2011 6.27 MON

平山郁夫が玄奘三蔵の足跡をたどり、構想に30年の歳
月をかけ、奈良・薬師寺の玄奘三蔵院へ奉納した『大
唐西域壁画』。その原寸大の大小図と小下図を、当時
のシルクロード取材ノートや素描、スケッチブック、写真
資料とともに展示し、制作の様子を紹介しております。

日本の風景

2011 3.4 FRI — 2011 6.27 MON

シルクロードの画家として広く知られる平山郁夫は、平
成という時代を迎えてから改めて日本の美を追求する
旅を始めました。その旅の中で描き続けたのは、豊かで
潤いに満ちた自然風景や、日本人が祈りそして育んで
きた古都の景観などでした。今回は桜の名所として知ら
れる奈良・吉野山を舞台にした2つの未公開作『吉野
山』『万葉月華図』（個人蔵）を特別公開しております。



▲『吉野山』（個人蔵）



▲『万葉月華図』（個人蔵）

展覧会予告

平山郁夫 文明の十字路を往く

最後の大シルクロードシリーズ

2011 6.3 FRI — 2011 10.24 MON



ボロブドゥールの椰子の実

初めてのインドネシア旅行の端緒は、一九八〇年一月二十五日のことでした。「ボロブドゥール仏教芸術視察団」結団式が毎日新聞社で開かれ、東大寺の清水公照師（東大寺もボロブドゥールも八世紀に作られたという御縁があります）、井上靖先生、日大の奥源造先生、昭和女子大の松本昭夫先生、毎日新聞

人に布のコレクションを見せていただき、インドネシアには一万数千も島があり、それぞれに独特な文化を持っていることを知ることができ、その奥深さに驚きました。伝統のある布は、おみやげ店で売っているものとは異なり、一言では語りつくせない物語がこめられています。

目的のボロブドゥール遺跡はジョグジャカルタから自動車で一時間かかります。当時ボロブドゥールは修復中で、回廊の東側は見られませんでした。清水公照師、井上靖先生などは一応見学されて、宿舎に引き上げられましたが、平山はスケッチブックだけでなく大きな紙を用意してきていて、一時も惜しんで描きつづけていました。どこから描いたらよいかと迷うほど、四層の各回廊の仏陀



スケッチする平山郁夫（写真の作品は「神々のインドネシア展」にて公開中）

サファヴィー朝の貴公子文錦に思う事

平山美知子

の記者永瀬嘉平氏に松山と私という物々しい感じが始まったのです。出発はその年の三月二十日でした。

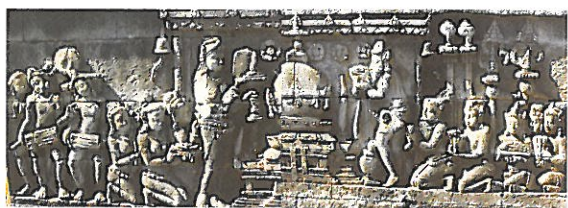
広島市の平山家から「ボロブドゥールノチョウサトス ケツチノタメ、キョウノハレノカドデヲシユクシ、シメイヲハタシブジゴキコクノホド、オイノリモウシアゲマス。ソフソボアネイモウト」と、「ヒラヤマイクオサマ、ヒラヤマミチコサマ」宛ての電報が来たのに驚きました。この電報によって、平山は海のシルクロードも描こうという意気込みが高まったと思います。

初めて赤道を越えて、シンガポール経由でジャワ島のジャカルタに着きました。ここでは日本大使館をはじめ、インドネシアの上流階級の人に嫁いだ婦人方到大歓迎されました。その中の一人のクスマ夫

の仏生前の功德を讀める仏伝図のレリーフはどれも素晴らしかったです。

暑さによる喉の渇きをおさえるため、椰子の汁を飲むように用意してくださっていたのですが、それが欲しいのか、石積みの中から小さな鼠が顔を出すのも、いかにも鄙びた出来事でした。それも今から三十年前も前の話で、今のインドネシアの繁栄の様子では考えられないことです。

昨年、平山のアトリエを整理していた時、その時のボロブドゥールのスケッチが出てきました。そのスケッチからは平山がボロブドゥールの絵にこめた思いが伝わってくるようです。またボロブドゥールに行ってみたくなりました。



ボロブドゥールのレリーフ

コレクション紹介 —金更紗—

Collection



藍/赤地花模様金更紗 腰衣(サルン) 綿
ジャワ島北海岸 20世紀

木綿の生地に意匠化された南国の花や鳥の模様が、色調も賑やかに染め出された異国の染物——インドネシアのジャワ島で染められたろうけつ布は、日本では長年「ジャワ更紗」の名で親しまれてきました。なかでも金をふんだんに使った絢爛豪華な金更紗は、幾多の人々を狂おしいまでに魅了し続け、時の権力者や富豪の身辺をきらびやかに飾ってきました。ヨーロッパ趣味の華やかな花束模様はジャワ島北海岸の典型的な更紗模様のひとつで、この伝統柄は今日でもプカロガンで受け継がれています。

（「神々のインドネシア展」にて公開中）

講演会

第1回『古代ペルシア王朝の興亡』 10月31日

講師／津村眞輝子(古代オリエント博物館 研究員)

第2回『平山美知子館長による「ペルシア紀行」(対談形式)』 11月14日

講師／平山美知子(平山郁夫シルクロード美術館 館長)

聞き手／宮下佐江子(古代オリエント博物館 研究員)

第1回は古代オリエント博物館研究員の津村氏が、イランの彫刻、金属器、ガラス、陶器、織物などの素晴らしい文化遺産について歴史や特徴をたどりながら、今回の展覧会の見どころを紹介くださいました。

第2回は、聞き手は現地に詳しい宮下氏につとめていただき、平山館長が夫、郁夫と共に旅したイランの遺跡や美術に触れた時の感動などを語っていただきました。



体験教室

ペルシア書道 日体験

— 自分の名前を書いてみよう —

講師／角田ひさ子(ペルシア書道家)

「ペルシア展」関連事業として、ペルシア書道家の角田氏をお招きして「日体験教室」を開催しました。はじめにイランの書の道具や書体を説明し、実際に特殊な筆で縦横の文字練習をしました。筆づかいに慣れたところでアルファベット表を参考に文字を練習し、最終的には清書用の紙に自分の名前を作品として仕上げました。

10月31日



第2回絵手紙コンテスト受賞者二覧

昨年に引き続き絵手紙コンテストを募集いたしましたところ、昨年を上回るご応募をいただきました。総数四百十五通。2010年末、厳正な審査のもと、九〇点の入賞作を選出しました。

受賞者は以下の方々です。おめでとうございます。

たくさんのご応募をありがとうございました。2011年も開催する予定ですので、皆様奮ってご参加下さい。

なお、受賞者には表彰式を予定しております。ご参加をお待ちしております。

◎最優秀賞

最優秀賞 土居望美 東京都
最優秀賞 白松文香 山口県
最優秀賞 中村明世 神奈川県
最優秀賞 浅川小都乃 長坂小4年

◎優秀賞

優秀賞 高間 修 神奈川県
優秀賞 長岡節子 千葉県
優秀賞 斉藤昌子 山梨県
優秀賞 安部俊希 新潟小4年
優秀賞 越塚友希乃 吉岡小6年
優秀賞 浅川飛翔 長坂小2年

◎入選

入選 田中智子 山梨県
入選 中島稔子 神奈川県
入選 高橋春風 長野県
入選 菅野優美子 埼玉県
入選 関戸千恵子 神奈川県
入選 石原玲子 神奈川県
入選 上田慶子 東京都
入選 小田厚子 広島県
入選 阿部将史 東京都
入選 長縄達也 大阪府
入選 久野みち子 埼玉県



最優秀賞 中村明世 神奈川県



最優秀賞 白松文香 山口県



最優秀賞 浅川小都乃 長坂小4年



最優秀賞 土居望美 東京都

入選 福本三枝子 兵庫県
入選 成田悠子 東京都
入選 小口初子 神奈川県
入選 河井祐紀 大阪府
入選 池口満也子 東京都
入選 南左千夫 奈良県
入選 若奈 威 長野県
入選 遠藤弥市郎 長野県
入選 山岸わか江 静岡県
入選 三枝恒子 山梨県
入選 奈良井紀子 長野県
入選 青木雄作 埼玉県
入選 榎本博子 埼玉県
入選 渡辺照香 東京都
入選 渡辺千恵 山梨県
入選 秋谷太朗 長野県
入選 敷野悦子 山梨県
入選 長谷川淑子 神奈川県
入選 三村恵美子 兵庫県
入選 山本佳菜子 三重県
入選 山本明日香 山梨県
入選 高見澤千咲 山梨県
入選 堀内結貴 甲府県
入選 萩原千尋 大塚小4年
入選 杉山亮輔 富塚小4年
入選 小林祐樹 春日井小4年
入選 佐々木星夜 高根西小4年
入選 酒井駿次 高根西小4年

入選 名取拳斗 甲府県
入選 小山璃莉奈 甲府県
入選 若生琴海 横浜創学館1年
入選 西村一真 小淵沢中1年
入選 中井千恵子 志賀中1年
入選 桜井りゅうちはな 和光中2年
入選 森宗優里 山内中2年
入選 名取美智 甲府県
入選 柳本宗達 甲府県
入選 菅原 司 甲府県
入選 仁志佳奈重 甲府県
入選 細川悠侑紀 甲府県
入選 住田聖人 藤沢小6年
入選 山本京香 川島小6年
入選 野間美咲 新田小6年
入選 南 柚衣 河合第三小5年
入選 加藤 綾 東台小5年
入選 奥水弘仁 高根北小5年
入選 堀内基希 長坂小5年
入選 山本明日香 川島小5年
入選 高見澤千咲 荏碓北小5年
入選 堀内結貴 甲府県
入選 萩原千尋 大塚小4年
入選 杉山亮輔 富塚小4年
入選 小林祐樹 春日井小4年
入選 佐々木星夜 高根西小4年
入選 酒井駿次 高根西小4年

入選 野間あかり 新田小3年
入選 田中ふゆ子 高根北小2年
入選 森 宗達 新石小2年
入選 西尾あかり 東京創備小2年
入選 阿江伸太郎 御茶ノ水女子大学付属小2年
入選 小池美香 函館白百合学園小2年
入選 金子はるか 荏碓小1年
入選 平田一喜 長坂小2年
入選 平田 匠 長坂小5年
入選 小林健人 長坂小2年
入選 安間隼斗 いずみ保育園年中
入選 三浦優唯 モンター幼稚園年少

地域創作作家の展覧会を開催します

今年で3回目となる「ハケ岳の風2011 クラフトマンたちの10の展示会」を開催し、ハケ岳の作家たちの感性をお届けします。毎日の暮らしに彩りを添える作品を探しに来てください。なお、期間内の定休日は美術館と同じです。

5/18～ 5/30	YASUSHI&マリウえだ 二人展
6/15～ 6/20	創作ステンドグラス展 田畑広・悟史
6/22～ 6/27	井上和己 斬新な皮革展
6/29～ 7/25	シルクロード展 (仮称)
7/27～ 8/ 8	夏:暮らしの彩り 3colors展
8/10～ 8/15	イーゲルハウス 木のものの展-緑陰にて-
8/24～ 8/29	工房月の手 有吉瓦 器展
8/31～ 9/12	日々 ほのほの展
9/28～10/10	和菓の器展
10/12～10/24	硝子と布と木 PartII 藤巻・金子・川口三人展
10/26～11/ 7	第2回 織りと水彩画の2人展
11/ 9～11/21	Xakka by Sakka ～ひと足早いクリスマスVol.2展

主催:ハケ岳アート&クラフトネットワーク (おらんうーたん)
 後援:平山郁夫シルクロード美術館
 会場:Gallery&Shop垂絲花
 Tel.0551-32-6781/Fax.0551-32-0226 AM10:00～PM5:00
 くおらんうーたんホームページ <http://yatsugatake-art-craft.jp/>

《おらんうーたん企画以外の展覧会》

5/4～5/16	裂き織り展 (仮称)
9/14～9/26	三井亮佑 彫刻作品展 『森に棲むものたち』

開館カレンダー2011 前期

4 APRIL	5 MARCH	6 JUNE
SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
7 JULY	8 AUGUST	9 SEPTEMBER
SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

●…は開館日です ●…は開館日です ●ガムラン演奏会 ●音楽会「オクサーナス・ステパニク」
 ●…は展示替です (臨時休館日) ●6/3～10/24 平山郁夫 文明の十字路を往く
 ●3/4～5/30 神々のインドネシア展 ●7/31 ワークショップ「うちに絵を描こう」染色体験の生葉染め
 ●3/4～6/27 日本の風景展 ●※5月3日は祝日のため開館
 ●1/19～6/27 平山郁夫と玄奘三蔵の道展 ●※6/1～2は展示替えのため休館

美術館スタッフ研修旅行

秋晴れの11月16日(火)、当館の休館日を利用し、いくみ会(ボランティア組織)を中心とした美術館のスタッフ研修旅行を実施しました。

今年は横浜美術館で開催された「ドガ」展と、鎌倉市にある平山郁夫のアトリエを訪問しました。横浜美術館の企画内容や展示方法、スタッフの対応やSHOPの品揃えは大変参考になりました。また、一昨年亡くなった故平山郁夫理事長宅のすぐ傍にあるアトリエを訪問し、遺影に手を合わせ祈りを捧げるとともに、生前平山郁夫が制作を行った様子を伺い、肌で感じる事ができました。

研修を通じ学んだことを、少しでも美術館の運営に役立てることができればと思っています。

(平山郁夫シルクロード美術館事務局 松山光)



「仏教伝来の道・平山郁夫と文化財保護」展をみて

2月1日(火)美術館の休館日を利用し、ボランティアスタッフ、アルバイトスタッフ、そして職員の総勢36名で、東京上野の国立博物館で開催されている同展に出かけました。当日は2月初旬とは思えないような暖かな日で、ハケ岳おろしの厳しい冬のさなかにいるスタッフにとって、心身ともに充実した1日となりました。

まず浅草で昼食をとり、頭上にそびえる東京スカイツリーの高さに圧倒されたのもつかの間、東京国立博物館に向かいました。まず講堂で、展示会の見所について松本伸之学芸企画部長から説明を受け、会場に入りました。見慣れたガンダーラ仏も、見る目の高さやライティングでこんなにも違って見えるのかと感心したり、他館所蔵の貴重な収蔵品を間近で見ることができ、また大迫力の大唐西域壁画に改めて圧倒されたり、まだまだ見ていたいという後ろ髪引かれる思いで帰路に着きました。

(平山郁夫シルクロード美術館事務局 進藤香苗)



松本学芸企画部長から展示会のレクチャーを受けました

2011年展覧会予定

3/4～5/30 神々のインドネシア—更紗・木彫・絵画—
 同時開催〔展示室5〕 3/4～10/24 玄奘との出会い
 〔展示室6〕 3/4～ 6/27 日本の風景

6/3～10/24 平山郁夫 文明の十字路を往く
 最後の大シルクロードシリーズ

10/29～2012 3/12 メソポタミア文明を知る
 同時開催〔展示室5〕 平山郁夫がみたオリエント世界
 〔展示室6〕 平山郁夫 フォロ・ロマーノと大シルクロード



公益財団法人
 平山郁夫シルクロード美術館

平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第12号 平成23年3月30日発行
 発行 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館
 〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225
 URL <http://www.silkroad-museum.jp>